



生物多様性

日本企業のCSR報告書 分析結果

WWFジャパン

ビジネスと生物多様性担当

栗野美佳子

2014/6/23

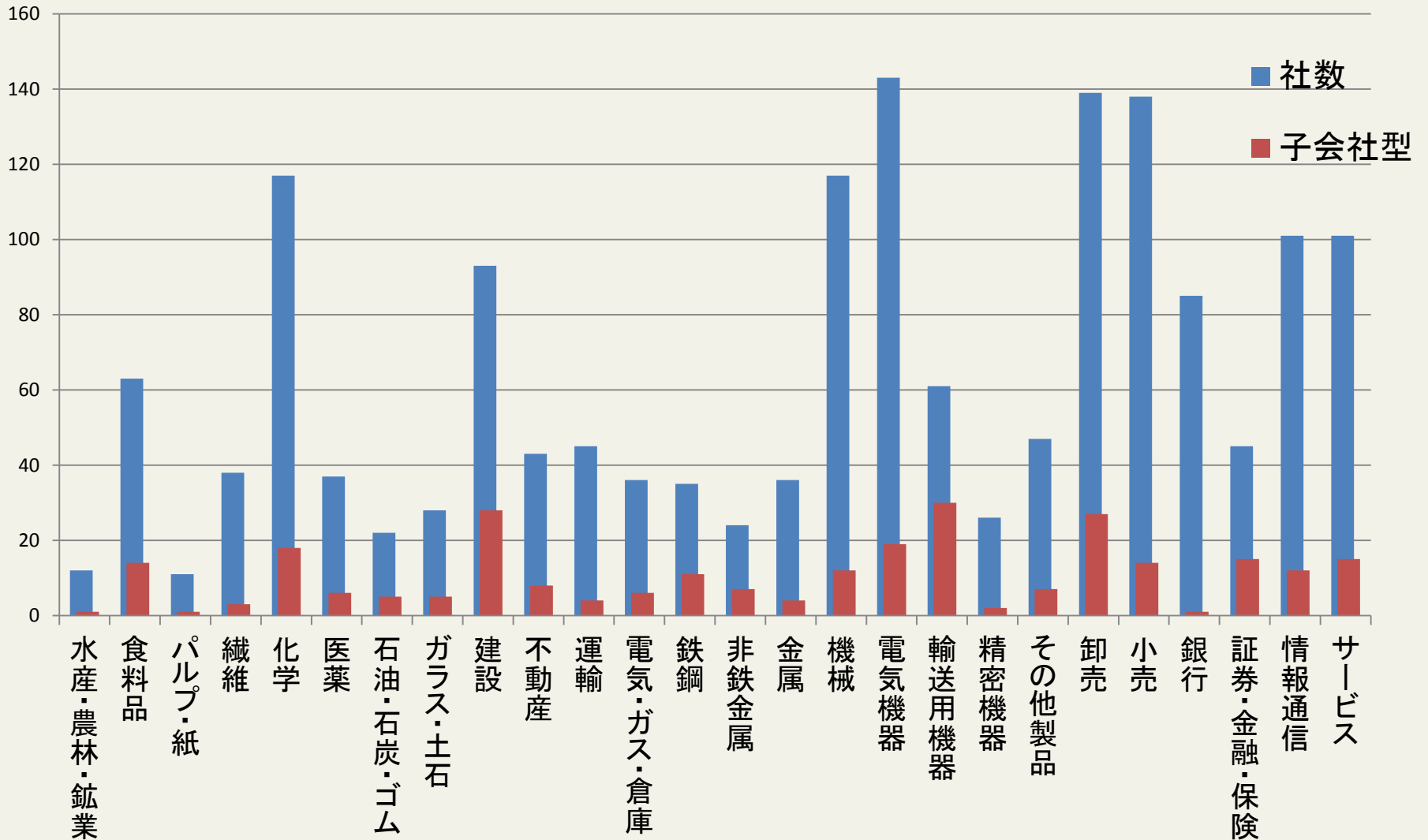
WWFジャパン ビジネスセミナー

「サプライチェーンマネジメントによる持続可能性～マテリアルな課題としての生物多様性」

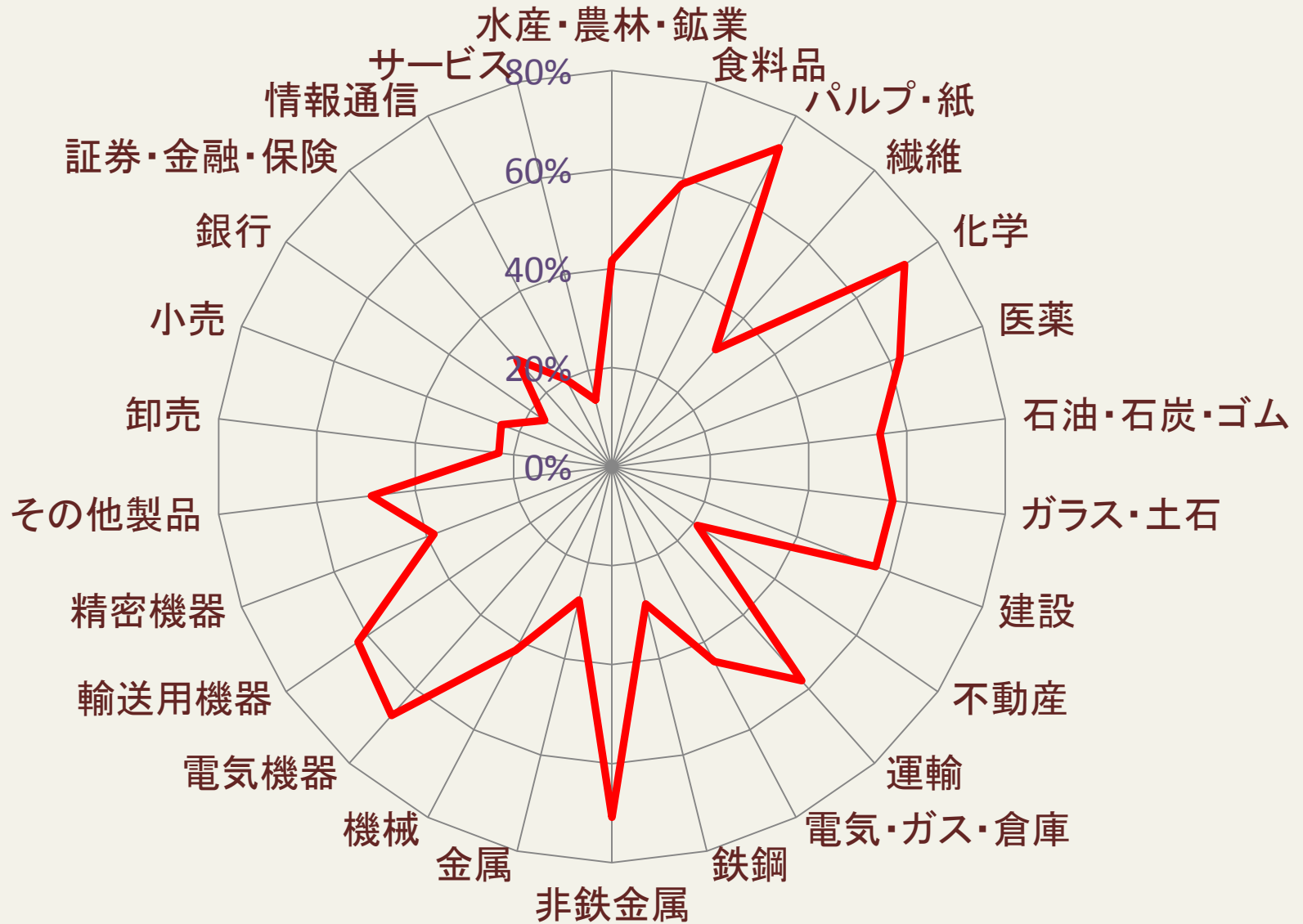
調査概要

- 対象企業：東証1部上場 1643社（調査時点）
- 対象期間：2011年度に発行の報告書
- 調査方法：各企業のウェブサイトから報告書並びにCSR・環境関連ページの記載をサーチ
- 調査項目：報告書発行有無・生物多様性に関する基本方針・各種認証制度利用・その他調達方針・その他生物多様性取り組み（ミティゲーション・社会貢献活動）

セクター別企業数



セクター別発行率



調達関連記載状況

セクター	電気機器	化学	建設	機械	輸送用機器	食料品	小売	卸売	運輸	医薬	その他製品	情報通信	非鉄金属	ガラス・土石	電気・ガス・倉庫	銀行	サービス	証券・金融・保険	繊維	石油・石炭・ゴム	鉄鋼	金属	精密機器	不動産	パルプ・紙	水産・農林・鉱業
報告発行企業数	96	84	53	49	38	37	33	32	26	23	23	20	17	16	16	14	14	13	12	12	10	10	10	9	8	5
FSC/認証制度	5	2	7	1	1	3	3	8	1		12	2			1	1			1			1		3	8	1
MSC/ASC							1									1				3						
RSPO		3				3		1																		
グリーン調達	80	60	32	34	29	19	9	15	16	19	10	12	9	8	14	8	6	9	9	11	5	8	9	1		2



傾向

- 有害化学物質削減を主眼としたグリーン調達
は化学・電気機器セクターでは大半の企業が
言及
- 事務用品に関するグリーン購入の記載はセ
クターを問わず普及
- 生物多様性の記載の大半は、国内の森林整
備に対する協力（「企業の森」）

調達活動

- FSCが記載件数としては最も多い(62社)
- WWFのテーマ以外では認証コーヒー
- 原材料調達を(生物多様性活動の)方針で言及している企業は144社中31社
 - 食品・繊維・紙パルプ・建設・化学・ゴム・機械・電気機器・
輸送機器・その他製品・小売
- 技術研究(22社)・社員教育(28社)よりは多い

参考情報

「環境報告書の記載事項等の手引き
第3版」(2014年5月環境省発行)

http://www.env.go.jp/policy/hairyo_law/tebiki_3rd-ed.pdf